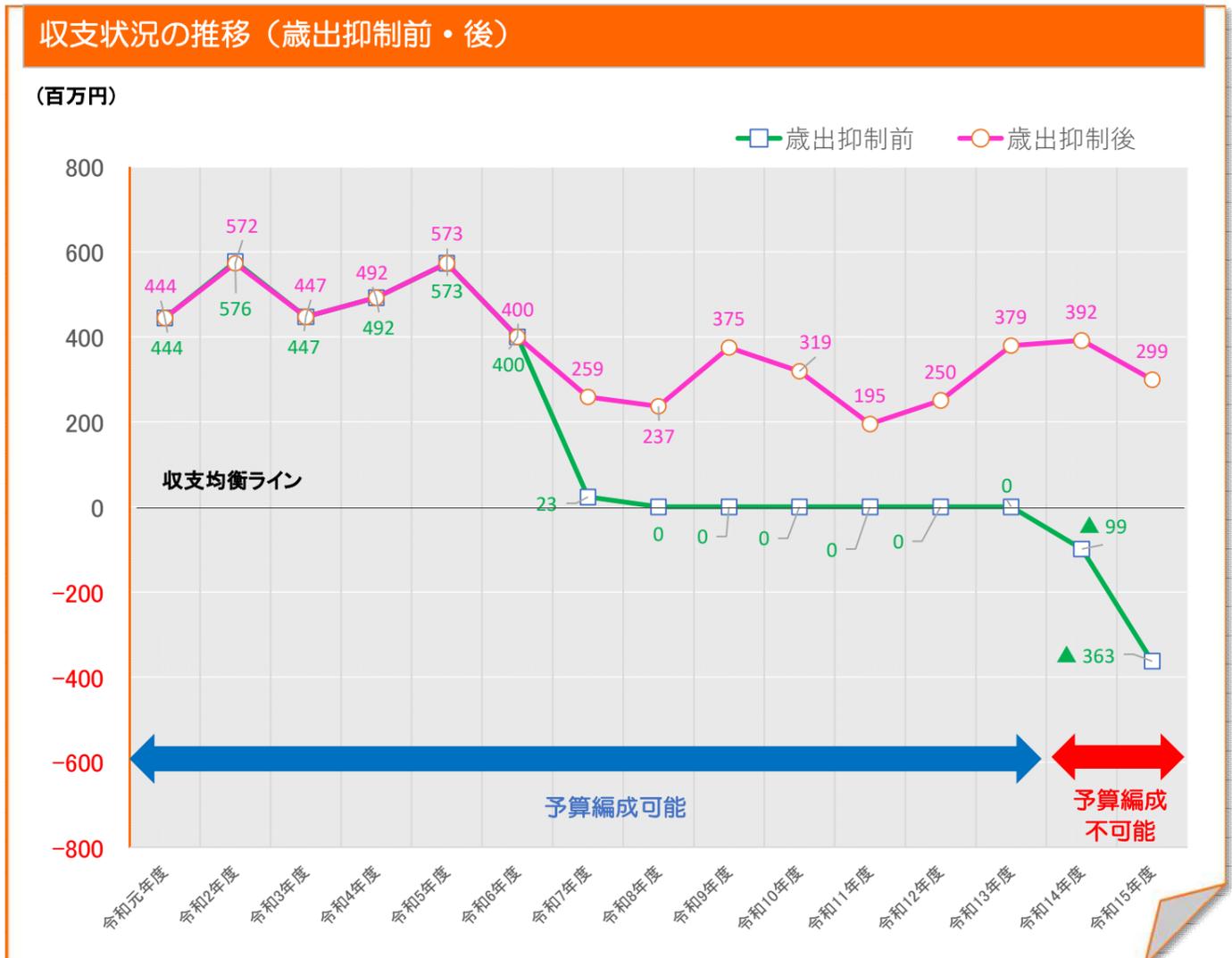
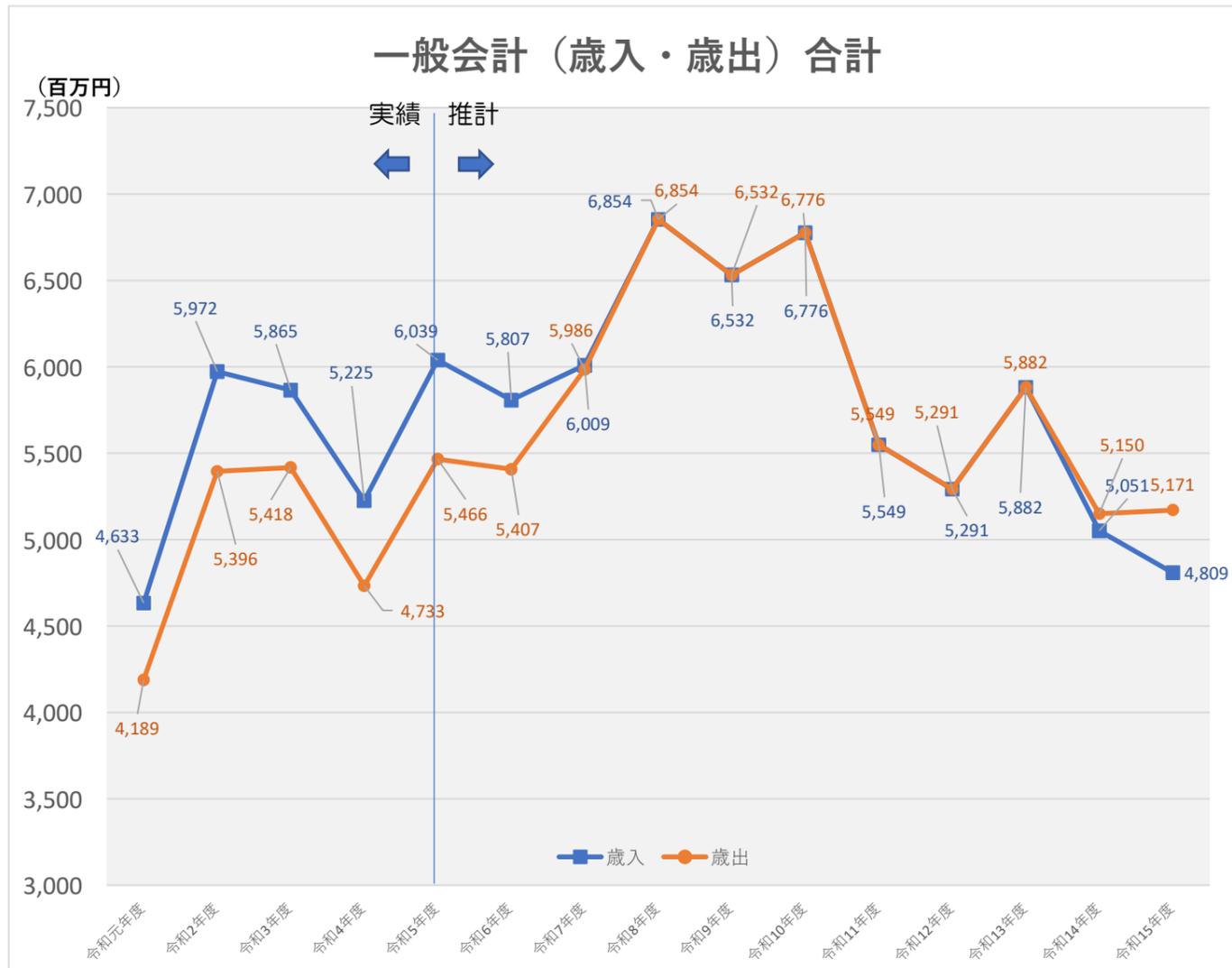




■ 歳入・歳出の見通し



● 【財政見通しを試算する上での条件】

- 令和5年度までの決算額と令和6年度以降の主要事業額をベースに、収支等に大きく影響するものを反映して作成しています。
- (歳入)
 - 町税は、過去の推移及び直近の試算を踏まえて計上
 - 地方普通交付税は過去の推移を考慮し、町債は想定される各年度の町債発行額を試算
- (歳出)
 - 人件費は、各年度の職員数を推計して試算
 - 公債費は、各年度における発行予定額（維持補修費、普通建設事業費に係る各一般会計債及び臨時財政対策債）の元利償還金を加算して試算
 - 出資金及び補助金は、下水道の広域化に係る費用、上下水道施設更新費用における元利償還金等を加算して試算

○主な事業と施行年度・歳出見込み

(今後の財政状況によっては変更となる場合があります。)

- ・総務課
 - 役場庁舎複合化 R6～R11 4,425百万円
 - ふれあいセンター改修工事 R6～R13 97百万円
- ・まちづくり戦略課
 - デジタル推進事業 R6以降 340百万円
- ・健康福祉課
 - 保健センター、介護予防センター大規模改修 R11～R12 114百万円
 - 西児童館大規模改修 R7以降 44百万円
- ・都市建設課
 - 町道7号線整備事業 R7以降 1,217百万円
 - 五霞IC周辺整備事業 R6～R15 437百万円
 - 地域優良賃貸住宅整備事業 R6～R15 614百万円
- ・教育委員会
 - 中学校普通教室棟中規模改修工事 R8以降 146百万円
 - 中学校屋内運動場・柔剣道場空調設備設置工事 R7 67百万円
 - 海洋センター施設管理事業 R7 49百万円
- ・上下水道課
 - 水道事業及び下水道事業(出資金) R6～R15 838百万円
 - (補助金) R6～R15 2,929百万円
 - 水道事業 思川開発建設事業に係る消費税 R8 131百万円



持続可能な財政運営を行っていくために…



- ・本町の歳入では、町税が大きなウェイトを占めており、なかでも町民税については新型コロナウイルス感染症の影響による減収から緩やかに回復傾向にあるものの、長引くデフレや中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響により下振れのリスクがあります。
- ・歳出では、複合庁舎の建設、児童館・保健センターなど公共施設並びに上下水道施設など生活インフラの老朽化対策、さらには上下水道事業の広域化・共同化といった大規模事業への対応が見込まれます。
- ・このような状況の中で持続可能な財政運営を行っていくためには、一般会計のみならず特別会計・公営企業会計含めて計画的な予算執行が必須となります。
- ・本見通しでは、令和5年度決算額を反映させるとともに、これまでに計画した執行予定額を再検証し更新したものです。
- ・ここでは、一般会計歳出決算額規模を令和6年度から令和15年度までの間「収支状況の推移」グラフのとおり抑制することにより、収支の均衡が保たれる結果となりました。これは将来に向けての財源(基金)を確保しつつ、最重点プロジェクトである複合庁舎整備事業など大規模事業への対応をも考慮したものです。
- ・しかし、これらは飽くまで推計であり、町を取り巻く情勢の変化により収支の均衡が崩れる可能性があることから、ふるさと応援寄附金などの税外収入の確保や受益者負担の適正化による歳入の確保、また、既存事業の見直しや公共施設の適正配置など徹底した歳出の抑制を図り、健全な財政運営に努めてまいります。

●中期財政見通しに基づく今後10年間の予算規模について

「収支状況の推移」グラフに示したとおり、歳出を抑制しなければ、令和14年度以降の予算編成が不可能な状況となっています。令和13年度までの収支が差引き零なのは、現在まで積み立てた財政調整基金を取り崩しているためです。この財政調整基金が令和13年度で底を突き、令和14年度以降は各年の収支の赤字を補てんできない状況となります。

そこで、今後10年間は各年度の収支均衡ラインを下回らないように予算編成を行う必要があります。下の表は、それぞれの年度における単年度収支を示した表となります。令和7年度以降、表に記載のとおり歳入不足が見込まれます。この不足分(赤字)を削減しつつ、「収支状況の推移」グラフに示した黒字を出すべく歳出を抑制しなければなりません。(ただし、令和6年度については、歳出は9月補正時点での予算現額、歳入は歳出額に過年度の繰越額の平均値400,000千円を推計値として加えた額となっています。)

●各年度の単年度収支について

(単位 千円)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	備考
歳入	5,806,962	5,608,609	6,578,201	6,388,009	6,394,276	5,076,112	5,105,187	5,778,888	4,862,269	4,757,620	
歳出	5,406,962	5,985,520	6,853,927	6,532,338	6,776,222	5,548,981	5,291,472	5,881,910	5,150,298	5,171,348	
収支	400,000	▲ 376,911	▲ 275,726	▲ 144,329	▲ 381,946	▲ 472,869	▲ 186,285	▲ 103,022	▲ 288,029	▲ 413,728	

※ 単年度収支＝当該年度実質収支(歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源)－前年度実質収支